

一般社団法人おきなわ子ども未来サポート

2023年度

にじいろかかず 活動報告書



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



「子ども第三の居場所」は日本財団が開設・運営を支援しています。

01

イントロダクション

にじいろかかずは、沖縄県宜野湾市嘉数にある「子ども第三の居場所」です。日本財団の助成を受け、2021年10月から活動を始めました。公民館を借りて活動をしていて、主に地域の小学生・中学生が遊びに来ています。

02

にじいろかかずの活度概要

目的

児童館もない宜野湾市嘉数という地域で、子どもたちがふらっと立ち寄って遊んだり小腹を満たしたりすることで、安心して時間を過ごせる居場所の提供を目指しています

利用対象者

だれでも遊びに来てよい

ただし食事の提供があるのでアレルギーの確認などで、保護者記入の利用登録書の提出をお願いしている

4歳～中学3年生までが遊びに来ています

活動について

開催日

毎週月・水・金 15:30～19:00

活動内容

- 学習支援
- 食事支援
- 生活支援
- イベント開催 など

03

利用者のフィードバック

参加者からのフィードバックを集計した結果、以下のような意見がありました

学童に行っていないから放課後暇だったけど、にじいろかかずにできて友達とも遊べて楽しい



おやつももらえるし
体育館で遊べるし
宿題も教えてもらえて
最高



プールに行ったり、バスケの試合を行ったり、普段行かないところに連れてってもらえて嬉しい



親のいない家に子どもだけにいるよりも、誰か大人がいる場所で見守ってもらえていても安心（保護者）



04

活動の強み

にじいろかかずが地域に与える影響

☑️ 安心できる居場所の提供

大きな公園はあるが周辺の交通量が多く、特に低学年の子どもだけで遊ぶには安全面で課題が残る地域に安心して遊びに行ける居場所ができた意義は大きい

☑️ 行政との連携

宜野湾市子育て生活支援員と連携しており、有益な情報や支援が必要な方へ必要なタイミングで届けられるよう動いている

☑️ 大学生との交流

大学コンソーシアムから学生ボランティアの派遣を受けているため、子どもたちと歳が近い大人と交流し、信頼関係を築いている

☑️ おやつや食事の提供

手作りの美味しい食事を毎回提供「いただきます」「ごちそうさま」とみんなで食事をする楽しさや基本的な生活習慣も教えている

06

これからの課題

WORST 1 2024年度以降の安定運営

日本財団からの助成金は2023年度までなので、2024年度以降安定して運営を続けるための資金調達が必要となる

WORST 2 地域との交流

より地域に密着した居場所となるため、嘉数自治会やこども会とさらなる関係性を築いていきたい

WORST 3 保護者との関係性構築

保護者とのコミュニケーションがほとんどなかったため、これからは保護者会など顔の見える関係性の構築を目指す

その他にも、大学生ボランティアは曜日ごとに別の学生が来るため、大学生ボランティア同士が交流する機会があっても良いかもしれないというフィードバックもありました



07

最後に

「にじいろかかず」をはじめたことで地域のこどもたちが安心して放課後を過ごせる居場所が作れました

居場所を飛び出した活動もしていて、夏場のプール遠足や琉球キングスやFC琉球の試合観戦など、普段は体験することがない非日常的な遊びの機会も提供しています

なによりもおうちとも学校とも違う、信頼できる大人がいる「第三の居場所」があることが子どもたちにとって良い影響となり学校の悩みや進学についてなど、ちょっとしたおしゃべりの中で大切な話もできるようになっています